



よしだ つ う し ん

吉田通心

第142号
【2026年7月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通心は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一個人通信です■■

◆遠藤麻理さんと学ぶ終活セミナー大盛況！◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通心第142号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先日、6月20日（土）にサルナート吉運堂にて、第4回及び第5回の「遠藤麻理と学ぶ終活セミナー」を開催させていただきました。

このセミナーは毎年この時期に、新潟県内でラジオパーソナリティーを務める人気フリーアナウンサーの、遠藤麻理さんが聞き役・質問者役となって、専門家の方にお話いただくものです。

今回のテーマは、午前中に開催した第4回、午後に開催した第5回の午前と午後をあわせて、なんと130名もの方にご参加いただき、本当に驚きました。半数は遠藤麻理さんのファンの方々でしたが、残り半数は真剣に終活を考えていらっしゃる方々でした。

また、来場された方々も、終活世代のご高齢の方々ばかりかと思いきや、そのお子さん世代である40代・50代の方々、相続を受ける側の方々がたくさん来てくださっている印象を受けました。親子で来てくださる方や、ご夫婦で来られる方もいらっしゃり、関心の高さを感じました。

お話が終わったあとに書いていただいたアンケートの結果も非常に良く、たくさんの方がコメントを残してくださいました。「相続に関して様々な期限があることがわかり、本当に勉強になった。これから子どもと話し合いたい」「生前贈与について気になっていた質問ができて良かった」「他の人のように夫婦で参加すれば良かった。次回は夫も参加させたい」「相続税の対象とならない財産が明確になって安心した」などなど。本当にたくさんのお声をいただきました。

終活は、決して人生の終わりを迎えるための準備ではありません。「これからの人生をよりよく生きていくための活動」です。私たちは、そうした前向きな活動を始めるためのサポートの一環として、このセミナーを開催させていただいています。

今回、大変ご好評をいただきましたので、これからは吉運堂の別の拠点でも同様のセミナーを開催することも、とても意義があることではないかと思っています。



◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、今年も私の大好きな枝豆の季節がやって参りました。さっそく自分好みに、ちょっとかために茹でて食べているのですが、今年はできが良いです。例年と比べても甘くて美味しい！「はつだるま」に始まり、最後の「肴豆（さかなまめ）」まで。厳しい暑さが続く今年の夏も、美味しいビールと枝豆で乗り切ろうと思います。もちろん、痛風にはくれぐれも気をつけます。吉田竹史

■吉田通心を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉運堂



吉田 竹史